

2012年1月6日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2013年4月30日】

団体名 東京都クッブ協会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

ジャパンクッブオープン in 東京(多摩地区大会)～スウェーデン生まれのクッブで新しいきずなづくり～

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

本事業はひとりから参加できる野外で家族や仲間と楽しく心と体を躍動させることのできるスポーツ大会を行うことで、個人の心身の健康づくりと家族や社会のきずなづくりにつなげたいと思っています。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

クッブというスウェーデン生まれのだれもが楽しめる新しいスポーツの大会を実施しました。6人以内10人以下で1チームを構成。初心者がいつでも体験できる体験コーナーを設けました。

日時:平成23年11月12日(土)午前10時～午後3時

会場:国営昭和記念公園 うんどう広場

大会参加者 1チーム6名 9チーム+個人1人=55人

体験コーナー 5人 総合計 60人

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

若い方々の参加を促すために、大学や地域団体の青少年部門に働きかけた結果、20代・30代の参加者が20名を越えたことは、とても意味あることでした。

また、大会運営に当たっては、開催地の立川市レクリエーション協会の協力も得られ、大変、スムーズに進めることができました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

11月中旬と寒さも心配しましたが、天候に恵まれ、温かく穏やかな1日でした。そのこともあり、参加者はみんなリラックスし、プレーを楽しむとともに、昼食時や休憩時、いたるところで笑顔が見られました。大変、よい交流と普及の機会となり、本当にありがたい助成でした。

優勝したのが三鷹市にある大学の学生チームで、若い世代がゆったりと楽しみながら真剣にクッブに取り組む姿は参加者全員の共感を得られたと思います。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり 特になし

ジャパン・カップオープン in 東京（多摩地区大会） 報告

期日：2011年11月12日（土）午前10時～午後3時

会場：国営昭和記念公園 うんどう広場

概要：

参加したのは、三鷹市、東大和市、羽村市、調布市など多摩地区を中心に、長野県や神奈川県、都内からで、9チームと体験参加者など60名。当日は天候に恵まれ、暖かな日差しを受けて、のんびりとしかし、コート上では熱戦が繰り広げられました。今年の特徴は家族参加チームもあったこと。2家族が合同でチームを作り、子どもたちとおとうさんが懸命にプレーしました。残念ながら、リーグ戦2試合ともおとうさんがクップが残っている時にキングを倒してしまって負けとなってしまいましたが、家族での試合を大いに楽しんでくれたようです。

優勝したのは2年連続参加の国際基督教大学チーム。男子ばかりのチームで的確なショットで栄冠を手に入れました。

若いチームが多かったのが今年の特徴でした。

来年の再会を期して楽しく大会を終わりました。

優勝 国際基督教大学チーム

準優勝 はむすぼ（羽村市スポーツ推進員チーム）

3位 勝手に長野県代表チーム



写真上・若い世代が目立った大会 中央・優勝チームのショット 下・決勝まで残ったチームで記念撮影